

## 米国イノベーション・ファンド (年1回決算型)

### (愛称) アメリカン・アイドル (年1回)

追加型投信／海外／株式

第4期 2020年1月20日決算

作成対象期間 (2019年1月22日～2020年1月20日)

第4期末 (2020年1月20日)	
基準価額	15,244円
純資産総額	656百万円
第4期	
騰落率	+26.9%
分配金	0円

◆運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米国イノベーション・ファンド(年1回決算型)(愛称：アメリカン・アイドル(年1回))」は、このたび、第4期の決算を行いました。

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

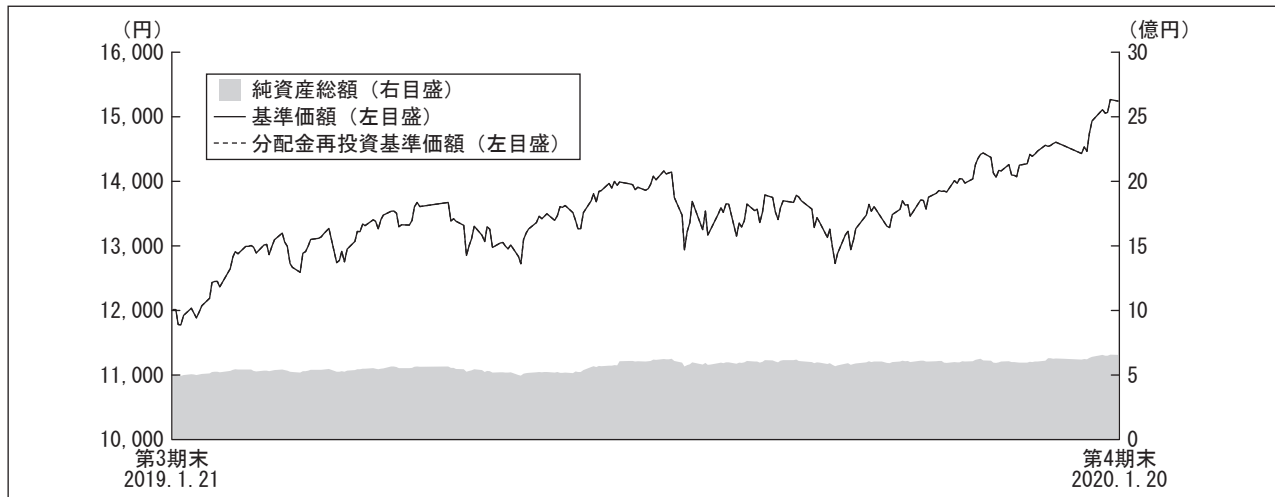
(旧：大和住銀投信投資顧問)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第4期首：12,014円

第4期末：15,244円（既払分配金 0円）

騰落率：+26.9%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米国イノベーション・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資を行いました。

（上昇要因）

当期は、競合他社との業務提携を発表し大幅な業績成長が期待されたリングセントラル、市場予想を上回る7-9月期決算を発表し通期業績見通しを引き上げたペイコム・ソフトウェア、ATMおよび国際送金事業が順調に推移したユーロネット・ワールドワイド、経営の意思決定に役立てるデータ分析事業が成長しているフェア・アイザック、甲状腺眼疾患治療薬の開発が順調に進んでいるホライゾン・セラピューティクス等が上昇し、プラスに寄与したことなどが要因となりました。

（下落要因）

当期は、米政府による華為技術（ファーウェイ）への禁輸措置を受け5G（第5世代移動通信システム）事業計画の遅延が不安視されたボイング・ワイヤレス、主力製品であるてんかん治療薬の売上高予想をアナリストが下方修正したGWファーマシューティカルズ、営業人員の採用が想定通りに進まず弱気な業績見通しを発表したニュータニクス、糖尿病治療薬「RVT-1502」について開発中止の検討を発表したりガンド・ファーマシューティカルズ等が下落し、マイナスに作用したことなどが要因となりました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	当 期		項目の概要
	2019年1月22日～2020年1月20日		
	金額	比率	
信託報酬	299円	2.221%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,466円です。
（投信会社）	(182)	(1.354)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(109)	(0.812)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	( 7)	(0.054)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	10	0.072	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	( 10)	(0.072)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.002	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	( 0)	(0.002)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	15	0.111	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 13)	(0.098)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 2)	(0.013)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	( 0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	324	2.406	

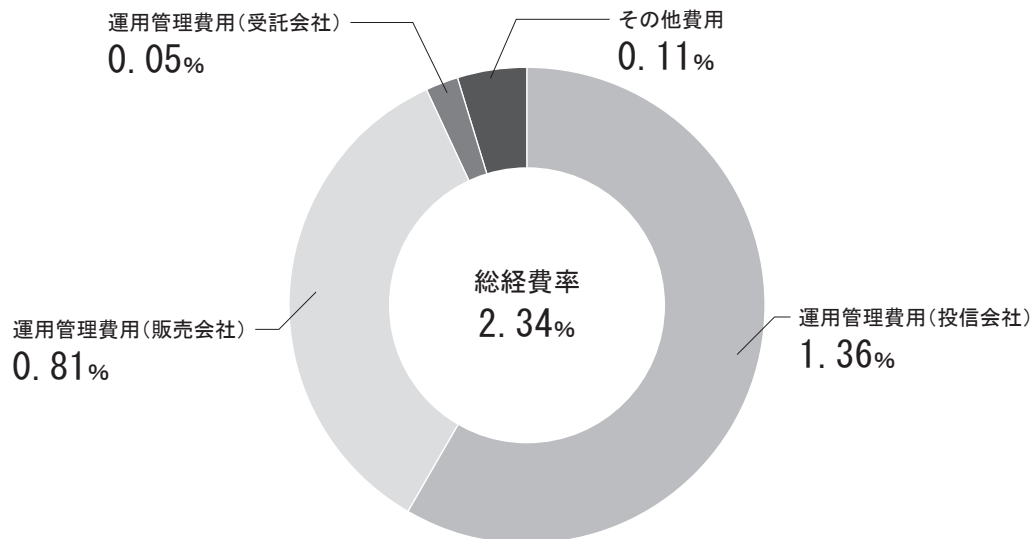
\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 参考情報 総経費率（年率換算）



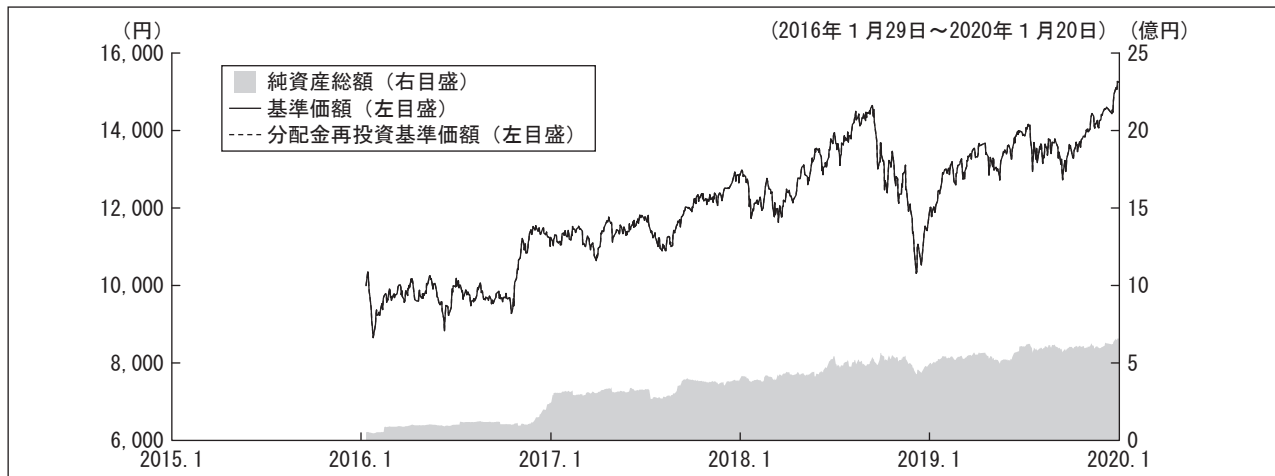
\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.34%です。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日（2016年1月29日）より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年1月29日 設定日	2017年1月20日 決算日	2018年1月22日 決算日	2019年1月21日 決算日	2020年1月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,203	12,964	12,014	15,244
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.0	15.7	△ 7.3	26.9
Russell 2500 グロス・インデックス (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	21.1	24.7	△ 4.3	25.5
純資産総額 (百万円)	52	247	414	500	656

\*Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、円換算）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

### ●参考指数に関して

\*Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、円換算）とは、Russell 2500 グロス・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託者が円換算したものです。

\*ラッセル・インデックスに関連するトレードマーク、サービスマークおよび著作権は、ラッセル・インベストメントに帰属します。インデックスは運用管理の対象とはなりません。また、インデックスは直接的に投資の対象となるものではありません。

\*海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

## 【投資環境】

当期の米国株式市場は、大きく上昇しました。期初から2019年4月にかけて、金融緩和や米中貿易摩擦の改善に対する期待に支えられ、上昇基調で推移しました。5月には、トランプ米大統領が中国からの輸入製品に対する関税率を現行の10%から25%に引き上げると表明、さらに、中国通信機器大手と米国企業の取引を禁じたことから米中貿易摩擦への懸念が再燃し、米国株式市場は急落しました。しかし、6月以降は利下げ期待が強まり大幅に反発、その後も米中首脳会談の開催が決定されたことが好感され続伸しました。8月は米中貿易戦争の激化懸念や、米国債市場での逆イールド（長短金利の逆転現象）の発現により景気後退が強く意識され売られたものの、10月に米中通商協議の閣僚級会合で進展が見られたことやFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利下げが決定されたことを受け、主要株価指数は再び値上がりしました。12月に米国と中国が通商協議での第一段階の合意に達したことで、期末にかけて主要株価指数は続伸しました。

## 【ポートフォリオ】

### ■米国イノベーション・ファンド（年1回決算型）

主要投資対象である米国イノベーション・マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な株式組入比率は94.6%としました。

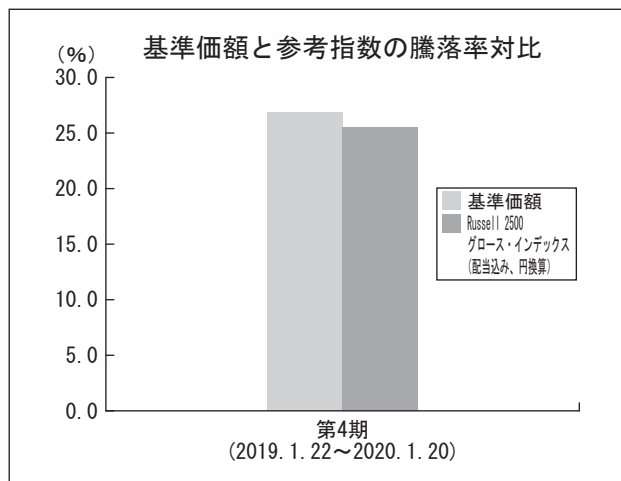
### ■米国イノベーション・マザーファンド

当期の騰落率は、+29.5%となりました。

当期は、金融機関から継続的に契約料収入を獲得し景気変動の影響を受けずに業績を伸ばせる余地が大きいACIワールドワイド、様々な防衛機器に汎用できる電子製品開発を行うことで高い利益率を実現しているマーキュリー・システムズ、標的型メール攻撃対策ソフトウェアの売上が好調なプルーフポイント等を新規に組み入れました。一方、目標株価に到達したシェイクシャックおよびWEX、時価総額が拡大し当ファンドの投資対象から外れたIAC/インタラクティブコープ、大口顧客との契約が更新されないリスクが浮上したグリーン・ドット等を全株売却しました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。  
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第4期	
	2019年1月22日 ~2020年1月20日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		5,244

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■米国イノベーション・ファンド（年1回決算型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■米国イノベーション・マザーファンド

米国のGDP（国内総生産）が12四半期連続で前年同期比2%以上の成長率を記録しており、引き続きその他の経済指標も堅調に推移していることから、2020年も米国株式市場は緩やかな景気拡大に支えられ上昇すると当ファンドでは見えています。また、当ファンドが投資対象とする中小型グロース株は、大型株やバリュース株と比較して3-5年予想1株当たり利益成長率は高い一方で、現在のバリュエーション（投資価値評価）はその高い予想利益成長率を反映しておらず、割安感があります。したがって当ファンドは、独自の製品やサービスで市場シェアを拡大し業績を伸ばせる中小型企業に適切なバリュエーションで投資を続けることで、収益の獲得を目指す方針です。

## お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

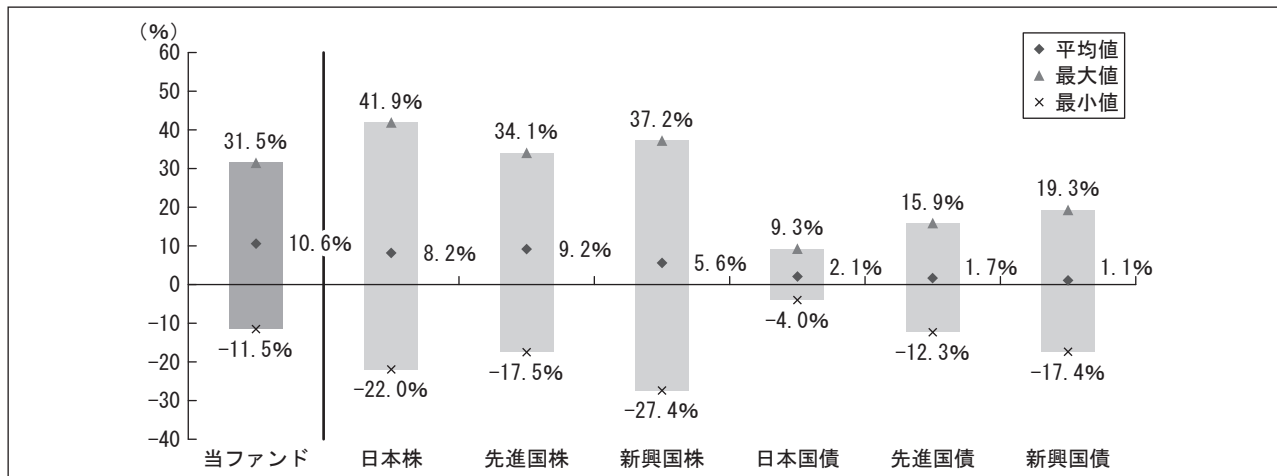


## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2016年1月29日～2026年1月20日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の中小型株に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	米国イノベーション・マザーファンド受益証券
	米国イノベーション・マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する中小型株
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用はファミリーファンド方式で行います。</li> <li>・ボトムアップアプローチによる企業調査や業界分析などから、革新的な技術やビジネスモデルを有し、高い成長が期待できる銘柄を厳選して投資します。</li> <li>・原則として、為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎年1月20日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2017年1月～2019年12月  
代表的な資産クラス：2015年1月～2019年12月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

## 当該投資信託のデータ

### 《当該投資信託の組入資産の内容》

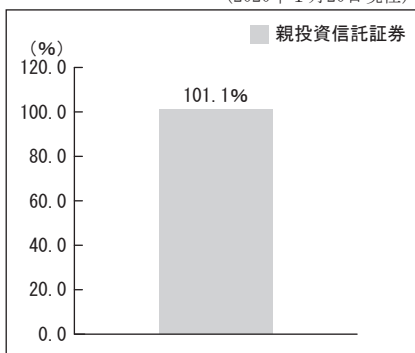
#### 【組入ファンド】

	第4期末（2020年1月20日）
	組入比率
米国イノベーション・マザーファンド	101.1%

\*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

#### 【資産別配分】

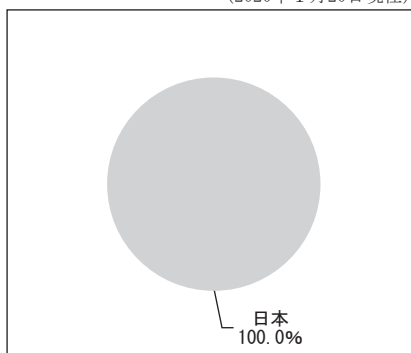
(2020年1月20日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

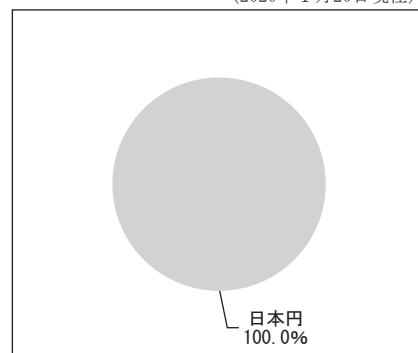
(2020年1月20日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2020年1月20日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【純資産等】

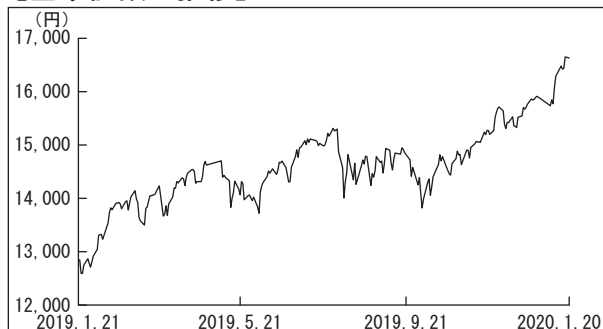
項目	当期末
	2020年1月20日
純資産総額	656,778,502円
受益権総口数	430,835,382口
1万口当り基準価額	15,244円

\*当期中における追加設定元本額は157,939,061円、同解約元本額は143,291,388円です。

## 《組入ファンドの概要》

### ■米国イノベーション・マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当りの費用明細】

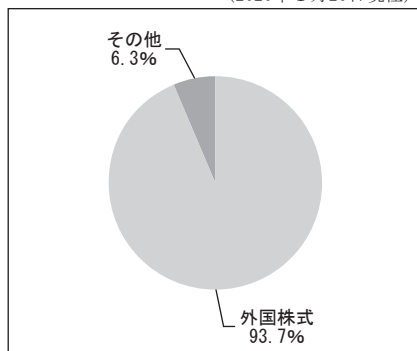
(2019年1月22日～2020年1月20日)

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	11円 (11)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	14 (14) (0)
合計	25

\*費用項目については、2ページの項目の概要をご参照ください。  
\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

#### 【資産別配分】

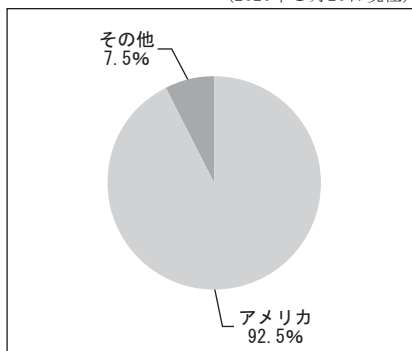
(2020年1月20日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

#### 【国別配分】

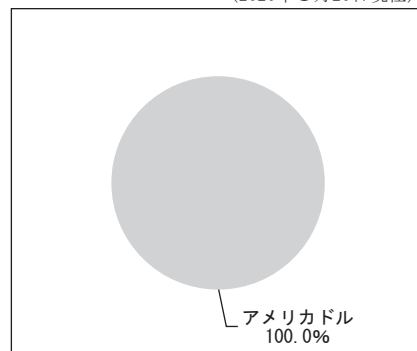
(2020年1月20日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【通貨別配分】

(2020年1月20日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

#### 【組入上位銘柄】

(2020年1月20日現在)

銘柄名	国名	業種名	比率
1 RINGCENTRAL INC-CLASS A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9%
2 EUONET WORLDWIDE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.3%
3 HORIZON THERAPEUTICS PLC	アイルランド	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.8%
4 NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.6%
5 EXACT SCIENCES CORP	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.4%
6 COOPER COS INC/THE	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	2.3%
7 BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	アメリカ	消費者サービス	2.2%
8 PAYCOM SOFTWARE INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.2%
9 GW PHARMACEUTICALS -ADR	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.2%
10 BLACK KNIGHT INC	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.2%

(組入銘柄数 58銘柄)

\*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものであります。